

THE LONGINES WORLD'S BEST RACEHORSE RANKINGS

The official listing of the world's best racehorses

(For 3yos and upwards which raced between 1st December 2012 and 14th July 2013)

ブラックキャビア[130]が今回のランキングでもトップの座を維持しているが、同馬は現役を引退しており、アメリカ調教馬ワイズダン[129]が現役ではトップとなっている。

LONGINES World's Best Racehorse Rankings			
Leading Horses			
click here for complete rankings			
Rank	Horse	Rating	Trained
1	BLACK CAVIAR (AUS)	130	AUS
2	WISE DAN (USA)	129	USA
3	FORT LARNED (USA)	126	USA
3	GAME ON DUDE (USA)	126	USA
5	ANIMAL KINGDOM (USA)	125	USA
5	ORFEVRE (JPN)	125	JPN
7	AL KAZEEM (GB)	124	GB
7	AMBITIOUS DRAGON (NZ)	124	HK
7	DAWN APPROACH (IRE)	124	IRE
7	FARHH (GB)	124	GB
7	GOLD SHIP (JPN)	124	JPN
7	MILITARY ATTACK (IRE) (ex Rave)	124	HK
7	ST NICHOLAS ABBEY (IRE)	124	IRE

昨年北米でトップとなった同馬は6月のファイアクラッカーH(G2)を2011年に続き制し、直近11走で10勝目を上げた。6歳となった同馬はここ1年は無敗で、連勝記録を7に伸ばした。

同馬が最後に敗戦を喫したのは昨年のスティーヴンフォスターH(G1)であるが、今年と同競走で圧巻のパフォーマンスを見せたのがフォートランド[126]である。昨年のブリーダーズカップクラシック(G1)の優勝馬である同馬は、この競走では終始ペースを握り他馬を寄せつけることなく、6馬身1/4差の逃げ切り勝ちを収め、成長し続けていることをアピールした。

フォートランドと第 3 位で並んでいるのがゲームオンデュード[126]である。同馬はトップハンデを物ともせず、ハリウッドゴールドカップ(G1)を 1 馬身差で制した。同競走に関する限り 2011 年はハナ差で敗れるも、昨年は見事雪辱を果たした同馬は、本年はここまで 4 戦 4 勝の成績を収め、さらに成長を遂げていることを示した。

第 5 位で並んでいるのが、ドバイワールドカップ(G1)を制したアニマルキングダム[125]と産経大阪杯(G2)を制したオルフェーヴル[125]である。

ヨーロッパにおけるトップ争いも熾烈で、4 頭が横一線で全体でも第 7 位で並んでいる。アルカジーム[124]は昨年 1 勝のみであったが、今年はそれを取り返すかのような勢いでここまで 4 連勝を記録している。ゴードンリチャーズ S(G3)とタタソールズゴールドカップ(G1)を制した同馬は、プリンスオブウエールズ S(G1)ではムカDRAM[123]をクビ差降し制している。その後、エクリプス S(G1)では、クイーンアン S 優勝馬デクラレーションオブウォー[120]に 2 馬身差をつけて快勝した。なお、同競走では前述のムカDRAMが不利を受けながらも 3 着となっている。

同馬とヨーロッパのトップ争いを演じている他の古馬 2 頭も本年完璧な成績を維持している。ロッキンジ S(G1)を制したファハー[124]とドバイシーマクラシック(G1)とコロネーションカップ(G1)を制したセントニコラスアビー[124]である。またこの争いに加わっているのが 3 歳トップのドーンアプローチ[124]である。同馬は英ダービー(G1)では惨敗を喫したが、セントジェームズパレス S(G1)ではトロナド[123]を短頭差破り、汚名返上を果たした。

ヨーロッパのトップホースと第 7 位で並んでいるのがクイーンズシルバージュビリーC(HKG 1)を制したアンビシャスドラゴン[124]とクイーンエリザベス II 世カップ優勝後、シンガポール航空国際カップ(G1)も制したミリタリーアタック[124]の香港調教馬 2 頭である。また、宝塚記念(G1)を 3 馬身 1/2 差という決定的な差で快勝したゴールドシップ[124]もこれに並んでいる。

ブラックキャビアとピエロ[121]が引退した今、スプリント部門の現役トップはリーサルフォース【121】である。英調教 4 歳馬である同馬はダイヤモンドジュビリーS(G1)を制した後、ジュライカップ(G1)でも再度ソサエティロック[117]を降し、ロイヤルアスコットでのパフォーマンスがブロックではなかったことを証明した。